

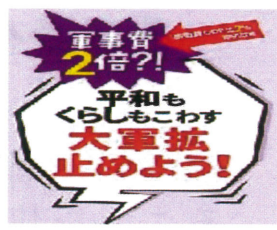


不屈の人

～200回以上の街頭演説～

議員になる前から8年間毎月2回、赤穂駅頭や商店前等での街頭演説を続けました。聞きなじみの方もいらっしゃることでしょう。

「平和あってこそその命と暮らし」を信念に平和憲法を守る署名活動や街宣活動に粘り強く取り組んできた実行力を生かします。



母ちゃん父ちゃんの味方

～保育現場を知っている～

赤穂市の保育現場に事務として勤務。保護者の願いや保育士の待遇の厳しさ等、直接の声を聴いてきた人。待機児童問題や学校給食費の無償化等、子育てにかかわる皆様の願いをしっかりと市政にとどけてきました。



日本共産党



公式ライン

ふかまち なおや 直也

38歳 市政をうごかす4つの力



まじめにこつこつ

～高校時から議会傍聴～

高校時から議会の傍聴。市議会や各種委員会の質疑の傍聴を通して学んできた人。赤穂市の各地区の課題に詳しく、議員活動に生かしました。



調査力抜群

～各世代の声を取り上げてきた実績～

学生時代に、若者の政治意識を調査して発表。それ以降、世論統計調査研究所で市民の要求調査に取り組んできた人。市民の皆様の声をきちんと聴いて、しっかりと議会にとどけます。



赤穂市の高齢者生活の現状

■年金者組合兵庫本部調べ（2024年3月末）

- ◆赤穂市の高齢化率（65歳以上約34%）15,229人
- ◆生活保護世帯257世帯（内161世帯約63%が高齢者）
- ◆介護保険認定者数（3,204人）とサービス利用率
 - 要支援1（607人）サービス利用率（21.1%）
 - 要支援2（515人）サービス利用率（16.8%）
 - 要介護1（689人）サービス利用率（45.9%）
 - 要介護2（422人）サービス利用率（56.8%）
 - 要介護3（354人）サービス利用率（60.2%）
 - 要介護4（354人）サービス利用率（60.6%）
 - 要介護5（263人）サービス利用率（71.7%）
- ◆国保加入世帯数（5,609世帯）の内
 - 滞納世帯数（720世帯）※2024年5月末
 - 短期保険証発行世帯（343世帯）
 - 資格証件数（46件）

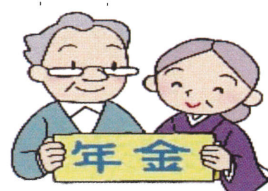
※支給限度額に対する利用率で、2024年3月分の集計です。

「あきらめない」子育てしやすい赤穂市に ～「育休退園制度」の廃止を実現～

第2子以降で育休を取った場合、第1子が0歳～2歳の時は、保育園に通わせることが出来ない制度。

県下、唯一赤穂市だけが、継続中でしたが、深町議員が議会で廃止を求めました。教育長が「前向きに検討する」と答弁。その後も議会で追及し、この制度は廃止され、今年4月から園児親子の「通園の願い」を実現することができました。

**かけがえのない子どもにふさわしい保育を！
市民の働く権利のために！**



民主赤穂 2025年3月号外

発行：日本共産党赤穂市委員会
住所 赤穂市加里屋南1-35
TEL 42-5794 FAX 42-1270

◎日本共産党は、全額国庫負担による当面月額5万円を全ての年金受給者に支給する『最低保障年金制度』を創設します。その上でこれまでの掛金に応じた給付をする年金制度を提案しています。

◎赤穂市に対して、国税（掛け金）の1世帯1万円引き下げをもとめています。

日本共産党 住民の声をまっすぐ議会に届ける

住民の怒り・痛みを代弁する日本共産党

自民・公明政治のもとで長期にわたり「失われた30年」という、くらしの困難が続いています。長年にわたり賃金が上がらず、年金は減り、消費税増税と社会保障の負担増が続いています。大学授業料値上げなど教育費も負担が重くなっています。中小業者・農林漁業者も深刻な苦境に直面しています。このように国民生活が疲弊しきっているところに物価値上げで、さらに家計を圧迫し、くらしをいっそう困難にしています。

日本共産党の地方議員は、こんな時こそ住民生活の実態を調査し、市政に質問を突きつけ、住民の声を代弁しています。

その時々々の苦難軽減が共産党の立場

日本共産党は、その時々々の国民の苦難を軽減し、国民の利益と安全のために活動することを基本としています。そのため住民要求をしっかりとつかむためにアンケート活動に積極的にとりくんでいます。そしてアンケートに寄せられた要求の、実現をめざして議員と連携しながらとりくみます。



あなたの願いに応える ホンモノの改革を

くらしが苦しい、先行きが見えないなど、切実な不安に応えるには、大企業とアメリカの利益を優先する政治から国民のくらしを優先する「ホンモノの改革」が必要です。

- ①消費税廃止当面5%に、大学の学費値上げ反対、社会保障充実
- ②ジェンダー平等、個性と多様性が尊重される社会
- ③戦争の心配のない東アジアへ
- ④地球温暖化防止、気候危機の打開

みなさんと一緒に実現できました！

- ①「ゆらのすけ」の増便と尾崎・御崎地区への運行を実現しました。
- ②子どもの医療費は18歳まで完全無償化しました。
- ③学校給食費は、2学期、3学期分を、国の予算で無償になりました。
- ④「育休退園制度」を4月から廃止にしました。
- ⑤赤穂市民と共に産廃最終処分場建設に反対しました。

ふかまち直也

プロフィール

御崎小学校、淳心学院中学校・高等学校卒
白鷗大学法学部卒、同大学院修了
統計調査研究所で活動
元あおぞら保育園勤務

趣味 野球観戦

《現在》

赤穂市議会議員1期、党西播地区委員、党赤穂市
委員長、9条改憲NO！市民アクション赤穂会員、
本水尾町在住

ふかまち直也は頑張ります

さらなる運行日数を増やします

●市外の高校への通学旅費助成の実現

完全無償化まで頑張ります

希望者全員が入所できるようにがんばります

産廃処分場建設計画をする業者が建設をあきらめるまでがんばります